

MUSICAL

# アニオー姫



報道関係者各位

2026年2月26日  
「アニオー姫」実行委員会

2026年9月KAATにて開幕  
新作ミュージカル『アニオー姫』～ Hẹn gặp lại 再び～

## アニオー姫役の音くり寿が歩く 物語の舞台、世界遺産ベトナム・ホイアン

2026年9月、KAAT神奈川芸術劇場にて開幕予定の新作ミュージカル『アニオー姫』～ Hẹn gặp lại 再び～。本作でタイトルロールのアニオー姫を演じる音くり寿が、物語の舞台の一つであるベトナム中部の港町ホイアンを訪問しました。17世紀の国際交易の記憶を今に伝えるこの街で、歴史の痕跡と人々の暮らしに触れる体験は、音にとって作品理解と役作りを深める重要な機会となりました。日越交流の史実をモチーフに描き出される本作の世界観を、役者自身が現地での体験を通して理解し、役作りへと活かしていく旅の様子をお伝えします。



アオザイを着てホイアン旧市街・古い家屋に佇む音くり寿

### ホイアンと物語の結びつき

ホイアンは、16～17世紀初頭の朱印船貿易によって日本との交流が盛んに行われた国際港湾都市で、日本人町が形成された歴史を持っています。現在も日本橋（来遠橋）や日本人墓地など、日本との関係を伝える史跡が残る街として知られています。

ミュージカル『アニオー姫』は、ベトナムの王族の姫であるアニオー姫と長崎の商人荒木宗太郎という、実在の人物にまつわる史実をもとにしています。異なる文化と言語を越えて結ばれた二人の関係を軸に、人と人とのつながりの温かさを描く作品です。



日越交流の象徴でもある朱印船のレプリカ



ホイアンを流れるトゥボン川

## 音くり寿が見た「物語の原点」

今回の滞在で音は、日本人墓地への墓参をはじめとし、日本橋やゴックホア通りの散策、昔の町家を利用し日越交流の歴史を伝える「日本文化の家」や朱印船のレプリカ見学など、史跡を巡りながら当時の交流の痕跡を辿りました。また、トゥボン川に浮かぶ舟やランタンが彩る街並み、周辺の田園風景など、現在のホイアンの暮らしと自然にも触れることで、物語の背景にある空気感を体感しました。

さらに、作品のキービジュアルを手がけたベトナム漆画家・安藤彩英子氏から、当時ホイアンを訪れた日本人についての話などを聞くことができました。安藤氏のアトリエも訪問し、キービジュアル製作の背景や漆画表現に込められた想いに触れられたことも、役作りなど舞台での表現を考える上で音にとって大きなインスピレーションとなりました。



ベトナム漆画家・安藤彩英子氏のアトリエ



ホイアンに残る日本人商人・谷弥次郎兵衛のお墓

## 音くり寿 コメント

ベトナム人女性を演じるにあたって、街の女性たちを自然と目で追っていました。みなさんエネルギーに満ちていて華やかで、元気にビビットに見えました。歩いている人たちが自然に笑顔だったのも印象的で、出会う方々がとても愛おしく感じられました。

ベトナムを訪れるのは初めてで、見聞きすることすべてが刺激的で、少し興奮している状態です。言語が分からないからこそ、“この人は今何を感じているのだろう”と表情や空気から読み取るうとして、五感をフルに使っていました。アニオー姫も、日本を初めて訪れた時は同じような感覚だったのではないかと思います。

初めてだからこそ得られるワクワクした気持ちを大切にしながら、教えていただいたことや体験したことを自分の中に落とし込み、役作りに活かしていきたいです。アートのように、さまざまな色を持つ表現ができるようになったらと思っています。これから自分の中で起こる“化学反応”が楽しみです。

## ミュージックビデオ、公式サイトにて3月中旬公開！

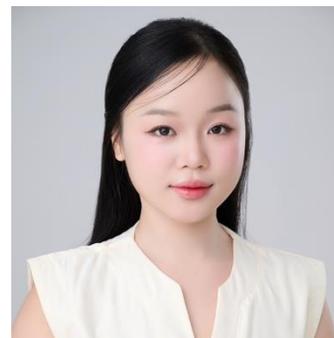
音くり寿が歌うソロ曲「ダンバウ ふるさとの響き」のミュージックビデオが、公式サイトにて3月中旬公開予定です。ベトナムの趣ある街並みや川辺の美しい風景をバックに撮影してきました。ぜひご覧ください。



## アニオー姫の幼馴染、バウ（冬瓜）役が ホアン・フォン・リンに決定

ベトナムで実施したオーディションを経て、「バウ（冬瓜）」役にホアン・フォン・リンの出演が決定しました。物語の中で重要なモチーフとなるダンバウの音色を担う存在として登場し、ベトナムの伝統的な響きを体現します。

Wキャストのアニオー姫役ドー・ファン・ザ・ハンにつづく、現地オーディションで選出したキャストの起用は、日越交流を描く本作のテーマを象徴するものでもあります。歴史的背景を持つ物語に、現代のベトナムの才能を加えることで、作品をより立体的で国際色豊かな舞台にしていく狙いです。



## 【ストーリー】

今から400年前、世界は“大航海時代”の17世紀初頭。広南国の王女・玉華姫（ゴックホア姫・後のアニオー姫）と日本の商人・荒木宗太郎は、両国を結ぶ大海原の船上で出会う。10年後、二人は運命に導かれ再会。いつしか恋に落ち、結婚することを決意する。父である王は、二人の変わらぬ決意と深い愛を確認し、結婚を許し、二人を日本・長崎へ送り出す。

「アイン・オーイ！」長崎の町中で、天真爛漫な玉華姫が宗太郎を広南の言葉で元気に呼びかける。長崎の人々はそんな姫を見て、いつしか「アニオーさん」という愛称で呼ぶようになった。町の人々にも愛され、娘も生まれ、幸せいっぱいの二人。そんな二人に抗えない“時代の波”が襲いかかる。長崎奉行から鎖国の通達が下されたのだ。果たして、二人の運命の行方は…

## 【キャスト】

田代万里生 小野田龍之介 音くり寿 ドー・ファン・ザ・ハン

今井清隆 吉沢梨絵 井料瑠美 栗原英雄 戸井勝海 斎藤准一郎 蛭牟田実里

浅場万矢 大越やよい 鈴木楓加 ホアン・フォン・リン

藤浦功一 廣瀬喜一 村上幸央 武藤寛 森山大輔

石田優月 今村心音 牛丸颯希 篠田果鈴 上西郷太 傳法谷みずき 中村ひかり

檜原じゅんや 矢野友実 山下麗奈

## 【クリエイティブチーム】

【総監督／演出／台本／作詞（日本語）】 大山大輔

【作曲】 チャン・マイン・フン

【台本／作詞（ベトナム語）】 ハー・クアン・ミン

【振付】 本間 憲一

【アーティストックアドバイザー】 本名徹次

美術：伊藤雅子

照明：齋藤茂男

衣裳：ひびのこづえ

ヘアメイク：赤松絵利

音響：原英夫、大坪正仁

舞台監督：幸泉浩司

演出補：砂川真緒

振付助手：北村岳子

音楽スーパーバイザー：鎮守めぐみ

オーケストレーター：竹内聡

エレクトロニック・ミュージック・デザイナー：ヒロ・イイダ

歌唱指導：門井友紀

バンドコーディネイター：新音楽協会

オーケストラ指揮：本名徹次

演奏：アニオー姫バンド、神奈川フィルハーモニー管弦楽団（収録）

キャスティング：中西聡、大場麻衣子

歴史考証：菊池誠一、友田博通

キービジュアル：ベトナム漆画家 安藤彩英子

※ミュージカルのキービジュアル

ミュージカル『アニオー姫』のキービジュアルは、漆画家安藤彩英子とデザインチームがミュージカルのコンセプトに合わせて、オペラ「アニオー姫」のために制作されたベトナム漆画キービジュアルのデータを基に、背景に満天の星空をデジタル合成したものです。

プロジェクト名誉顧問：ファミ・クアン・ヒエウ、伊藤直樹

プロジェクトスーパーバイザー：黒岩祐治

スペシャルアドバイザー：山田滝雄

制作アドバイザー：チャン・リ・リー

制作：佐々木真二

プロデューサー：足立信彦

統括プロデューサー：古川直正

エグゼクティブプロデューサー：前田俊秀

## 開催概要

※2026年2月26日現在の情報

タイトル ミュージカル『アニオー姫』～ Hẹn gặp lại 再び～

主催 「アニオー姫」実行委員会  
(ブレイングループ、ヤマハミュージックベトナム、NPO国際交流促進協議会)

共催 日本経済新聞社

提携 K A A T 神奈川芸術劇場

名誉顧問 ファム・クアン・ヒエウ (駐日ベトナム大使館特命全権大使)  
伊藤直樹 (駐ベトナム日本国大使館特命全権大使)後援 日本外務省、日本文化庁、神奈川県、長崎県、公益社団法人ベトナム協会、  
一般財団法人日本・ベトナム文化交流協会、特定非営利活動法人日越塚友好協会、  
特定非営利活動法人堺国際交流協会、NPO法人長崎・ベトナム友好協会、  
一般社団法人健康で安心な社会づくり推進協議会、国際交流基金ベトナム日本文化交流センター、  
一般社団法人長崎県観光連盟、一般社団法人長崎県医師会、一般社団法人長崎市医師会、  
公益財団法人徳川記念財団  
ベトナム外務省、ベトナム文化スポーツ観光省、ダナン市、  
ベトナム音楽家協会、ベトナム国立交響楽団、ベトナム国立オペラバレエ団、  
ホーチミン市立オペラバレエ交響楽団、ホーチミン市音楽院、ホイアン世界遺産文化保護センター、  
Vietnam Television、在日ベトナム学生青年協会、在日ベトナム語協会、  
在日ベトナム伝統文化芸術協会協賛 [プラチナサポーター]  
大和ハウス工業株式会社、東急株式会社  
[ゴールドサポーター]  
株式会社ニトリホールディングス、イオン株式会社  
[シルバーサポーター]  
株式会社三井住友銀行、商工中金、ホテル三日月グループ、  
相鉄ホールディングス株式会社、RIZAPグループ株式会社、株式会社JTB  
[ブロンズサポーター]  
国際医療福祉大学、株式会社きらぼし銀行、株式会社横浜銀行、京浜急行電鉄株式会社、  
株式会社アトリエヨシノ、日本経済大学

協力 株式会社三修社

公演日程 2026年9月12日(土)～9月27日(日) ※全21回公演予定

公演会場 K A A T 神奈川芸術劇場 &lt;ホール&gt; (神奈川県横浜市中区山下町281)

公式サイト <https://musical.anio.jp>

※2026年6月中旬よりチケット一般発売開始予定。詳細は公式サイトをご覧ください。



本作に関するお問い合わせ

「アニオー姫」実行委員会事務局 [info-musical@anio.jp](mailto:info-musical@anio.jp)